

学校 教育 目標	個性を発揮しながら、互いのよさを認め合い、自ら課題を解決しようとする子 ~咲こう 輝こう マーガレットのように~ ○自ら学び、課題を発見し、知識や経験を活かして生きていく子を育てます。(知) ○自分を大切に、互いに認め合い、規範意識を大切にすることを育てます。(徳) ○心と体を鍛え、自他の生命を大切にすることを育てます。(体) ○地域や社会のよさを学び、自らができることを実践しようとする子を育てます。(公) ○グローバルな視野を持ち、社会とつながり、未来を創る子を育てます。(開)		
	学校概要	創立 54 周年 学校長 村上 雅基 副校長 永野 理英子 2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 2 児童生徒数: 578 人 主な関係校: 希望が丘中学校 笹野台小学校 中尾小学校 東希望が丘小学校	

学校概要	創立 54 周年 学校長 村上 雅基 副校長 永野 理英子 2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 2 児童生徒数: 578 人 主な関係校: 希望が丘中学校 笹野台小学校 中尾小学校 東希望が丘小学校
------	---

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <情報活用能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>	希望が丘中学校 笹野台小学校 中尾小学校 東希望が丘小学校	○課題に柔軟に向き合い、主体的に学び続ける子ども ○互いを認め合い、社会とのかかわりを大切にすることを育てます。 ○目標に向かってチャレンジし、自信をもって行動できる子ども ・横浜市学力・学習状況調査の結果を分析することにより、中学校区の子どもの特性を理解する。 ・児童生徒指導や特別活動、特別支援教育の情報交換を行う。 ・小学校と中学校の授業を相互に見学することにより、子ども像を共有する。

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりを大切にしながら、地域・社会とともに歩む学校にします。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・地域の「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、地域を愛する心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①児童の実態に応じた段階的な学習…重点研究会を軸として児童の実態に応じた単元の計画、段階的な児童の見取りについて技能を高めていく。 ②ICTを活用した探究的な学び…ツールとしてのICTを活用し、これからの社会に生きる児童の活用する力を育成する。そのためにも校内情報担当との連携も図り教員へのICT研修を実施していく。
担当 教務部	
豊かな心	①配慮の必要な児童への共通理解をもつ場をつくり、あたたかな視点をもつことができるようにする。 ②なかよし班や各行事を通して、自分も相手も大切にすることを育てる。 ③音楽朝会で、歌う時間を共有することで、情操豊かな心をつくる。
担当 道徳部・人権担当	
健やかな体	①学習カード、ICT機器など様々なツールを活用し、自己の課題を主体的に解決できるような授業づくりを進める。 ②児童保健委員会、児童体育委員会を軸として児童の健康・体力の増進につながる活動を計画・実践していく。
担当 体育部・保健部	
児童生徒指導	①令和3年度より1人1台のタブレットが配当されるので、児童一人ひとりが嫌な思いをしないように情報モラル教育を年間指導計画に位置付けて確実に指導できるようにする。②性教育について年間指導計画の中に位置づけて各学年で指導できるようにする。
担当 児童指導委員会	
特別支援教育	①個別の教育支援計画、指導計画の活用の仕方について時間をとって検討し、効果的な活用ができるように計画する。②特別支援教室の利用について、利用希望者が増えてきた場合にどのように受け入れていくかを検討し、有効な活用ができるようにする。
担当 特別支援教育委員会	
地域連携	①引き続き、「東希きょうどう隊」と連携しながら学習のサポートや校内の環境整備などさまざまな取り組みを実施していく。②昨年度の「学校関係者評価委員会」において頂いたご意見を活かして、より子どもたちが楽しく学んで過ごせる学習指導、教育活動を実施していく。
担当 教務部・学年・児童指導委員会	
自分づくり教育 (キャリア教育)	①学校教育活動全体を通して、地域や保護者などとの連携の仕方を工夫し、自己有用感を高め、自分に自信をもてる子どもの育成に努める。 ②「キャリアパスポート」をよりよく改訂していくことで、子どもたちが自己を振り返り、働く意義や自分の将来について考えることができるようにする。
担当 教務部・特別活動部	
いじめへの対応	①それぞれのクラスで起こったいじめ事案をすぐに学年で共有できるように毎週の学年研で児童指導の時間をつくるようにする。②いじめ事案が起こった時にすぐに臨時的いじめ防止対策委員会を開き、今後の方針について確認、共通理解できるようにする。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンターチームを組織し、ベテラン教員や管理職が講師となる校内研修を継続して行い、自らの授業への活用ができるよう定期的に話し合う。②学年やブロックでのこまめな情報共有を図り、必要に応じて学校全体で情報の共有・伝達を行う。③行事を精選し、職員・児童の負担の軽減につなげる。
担当 教務部・メンターチーム	